

地域医療相談室【公式】Instagramを立ち上げました！

地域医療相談室長 島野麻里子

2024年7月8日より、当院地域医療相談室の【公式】Instagramを立ち上げました。

近年、Instagramを使って発信されている医療機関が多くなっていること、Instagramで他の医療機関様をフォローしたいなど思った際に、使用可能なアカウントがなかったこと、当院の活動を発信できるツールがほしい、等の理由から、【公式】Instagramを開設する運びとなりました。地域医療連携活動に限らず、病院の日常をスタッフ目線で、「楽しく!軽やかに!わかりやすく!」をモットーに、リアルタイム発信できることを心がけております。

一方でインサイト分析も重要だと感じます。私たちの予想しなかった投稿内容(例えば、当院のRunning Team員が金沢マラソン前に神社参拝したリール動画)が一番、閲覧されてい

たことにも驚いています。県内外問わず、様々な方々と繋がりをもてるようになったことも大切な一歩だと感じます。

日々の医療活動においては、楽しいことばかりではなく、大変なこと、辛いこと等、様々です。医療のプロとしての真剣な眼差しから、和やかで人間らしい姿まで、地域医療相談室スタッフが「いいな!」と感じた日常を、まるごと発信したいなど思っております。

お気軽にフォローいただけますと幸いです!



金沢マラソン2024報告

6階病棟 深田 和博

去る10月27日、第10回金沢マラソンが開催されました。私はこれまで2017年、2022年と過去2回金沢マラソンに出場経験がありましたが、3回目である今大会ではメディカルランナーとして参加させていただきました。

当院からは医師、看護師をはじめ多くの部署から多数出場、大会当日は曇りの天気にも関わらず、最高気温22℃という季節外れの暖かさでした。名村 CEO や南井事務長、その他応援スタッフの皆様が出発前に応援に駆けつけてくださり、皆で石浦神社にて安全祈願後いざスタートとなりました。

スタートからしばらくは要救助者がおらず、他のランナーと同じようなペースで順調に進んでいましたが、約15km地点くらいで救護要請がありました。(守秘義務があるため救護内容等は伏せさせていただきます)。対応した要救助者と一緒に迎える救護カーを30分ほど座って待ち、再スタートとなりました。その後も数人対応させていただきました。

マラソンはよく「20kmの壁」、「歩いていても良いけど絶対に止まるな」という言葉を良く聞きますが、まさにその通りで30分立ち止まった影響なのか25kmを過ぎた地点辺りから足が思うように動かなくなりました。またコース中盤全く景色が変わらず、果てしなくまっすぐ続く疋田から福久で折り返して松寺に抜けるコース(昨年導入されたコース)はまさに地獄で今でも夢にでてきます(笑)。

タイムよりも救護をしながらのマラソンが役目でしたが、何とか無事完走できました。

全国のマラソン大会に数多く出場経験のある県外の友人によると、「沿道の応援・声援が絶え間なく続き、「もてなし」

を感じる大会は金沢がダントツ一番。」とのことでしたが、まさに私も3回の出場を振り返ると痛感しています。

また、目立つ真っ赤な救護のビブスを着用していたため「看護師さん頑張ってる!!」「看護師さん頼むよ!!」などといった暖かい声援が安全に、無事ゴールに向かうという原動力になったのは間違いありません。

ほぼセミプロである親友の勧めで7月よりゴルフを始めて猛特訓中の今、「走る」という趣味が薄れつつありますが、今後も何らかの形で走る機会を作り続けていきたいと考えております。最後になりましたが今大会に参加された皆様、大変お疲れ様でした。また、大会に向けて多方面でサポートいただいた皆様、そして応援して下さった皆様に感謝と御礼を申し上げます。

追伸、ゴルフをされている方、興味がある方がいらっしゃいましたら、声をかけていただけると嬉しいです。



■ミッション■「循環器病からの解放」

— 心臓病、血管病などの循環器病からすべての患者さん、家族の方々、そして社会全体を「解放」します —

■ビジョン■「すべてがプロフェッショナルな病院」

— 医療人として情熱を持ってスキルと人間性を磨きます —

医療法人社団浅ノ川

心臓血管センター金沢循環器病院

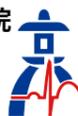
〒920-0007 石川県金沢市田中町は16

TEL 076-253-8000 FAX 076-253-0008

https://www.kanazawa-heart.or.jp

info@kanazawa-heart.or.jp

編集/広報委員会 はあとふる Vol.62 発行日2025.1.15



■一陽来復(令和7年病院長新年ご挨拶)

■当院における心臓弁膜症治療の取り組み

■2024年8月10日「健康ハートの日」開催

■地域医療相談室【公式】Instagramを立ち上げました!

■金沢マラソン2024報告

浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

new year 2025



一陽来復

病院長 池田 正寿



令和6年を振り返りますと当地では元旦の大地震、9月の豪雨災害と二度の大規模な天災に見舞われてしまいました。辛い思いをされた方も多いかと存じます。前を向いて再建に奮闘しておられる皆さまの願いが通ずる一年となりますようお祈りさせていただきます。

昨年6月の診療報酬改定で全国の医療機関は少なからぬダメージを受けていると聞いております。当院も例外ではございませんが何とか新年を迎えることができました。病院が利潤を追求する場になってはいけないと思いますが、新しい医療器具の投入が続いていること、デジタルトランスフォーメーションの動きが加速していることなどから設備投資の原資を確保することは大切です。医療をどこで受けるかは皆さまの裁量に任せております。標準水準を超えた医療をご提供できるように今年も努めて参りたいと考えております。

いくら設備を整えても扱うのは従事している人間です。当院では以前より学会発表や研修会に積極的に参加してスキルアップに努めるとともに、院内での医療の改善活動を行って標準化・高度化にも努めてまいりました。また、広報活動も大切です。当院で行っている医療についてホームページで発信しているだけでなく、8月には金沢市や地元マスコミあるいは日本心臓財団等の後援を受けて一般市民の方に対し「健康ハートの日」のイベントを開催しました。また金沢市老人連合会と連携して循環器疾患に関する定期的な講習会も実施させていただいております。これらの活動も継続して選んでいただける医療機関であり続けられるように努力を続けて参ります。

昨年からは医師に対する労働時間の制限も厳しくなりました。私がこの職に就いたころは朝起きてから夜眠りにつくまでが労働時間…が当たり前でした。考えてみれば医療行為は倫理的であらねばならないのに従事している医師が「蚊帳の外」とはおかしな話でした。ただ代替要員の確保は困難です。「勤務時間を過ぎたので帰らせていただきます」と安易に口にできないのが医療の現場です。何とか遣り繰りしている現状を読者の皆さまにもご理解いただき見守っていただければ幸いです。

当院は今年の5月で開院から丸34年となります。建物も古びてきたことから新病院構想の検討も続けていますが、この地で着実に歴史を重ねてきました。今年も石川中央医療圏での循環器診療の「最後の砦」の一つであり続けるように職員一同努力を続けます。令和7年も心臓血管センター金沢循環器病院をよろしく願い申し上げます。

当院における心臓弁膜症治療の取り組み

当院では、心臓弁膜症のカテーテル治療を積極的に導入しています。特に、大動脈弁狭窄症に対する**TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)**や、僧帽弁閉鎖不全症に対する**マイトラクリップによる経皮的僧帽弁接合不全修復術**を行っており、これらの治療は限られた施設でしか提供できないため、地域医療において重要な役割を果たしています。今回は、特にTAVI治療についてご紹介いたします。

TAVIは、開胸手術を行うことなく、大動脈弁をカテーテルを用いて置換する革新的な治療法であり、特に高齢者や重篤な合併症を有する患者において、その低侵襲性が大きな利点となります。

当院では、2019年よりTAVI治療を導入し、これまでに300例以上の症例を経験しております。TAVIによる治療は、患者さんの生活の質(QOL)を大きく改善し、手術に伴うリスクを軽減することができます。特に、高齢者や呼吸器疾患、糖尿病、腎不全を併発している患者さんに対しても、TAVIを実施することで、術後の回復が早く、生活の質の向上が認められています。

適応の拡大と透析患者への対応

TAVIの適応は、初期の高リスク患者に限定されていましたが、近年、透析患者、低リスク患者、心不全患者、また植込み型デバイス(ペースメーカーやICD)を持つ患者など、多岐にわたる患者群に対しても拡大しています。従来、透析患者は大動脈弁置換術の対象として禁忌とされてきましたが、最新の研究結果や技術の進歩により、透析患者に対するTAVIが有効な治療法として注目されています。

当院においても、この適応拡大に伴い、透析患者へのTAVI治療を積極的に進めており、透析患者を含む多くの症例で成功例が報告され、その後の予後改善が確認されています。透析患者特有の血管硬化や感染症リスクなどを考慮し、個々の症例に応じた最適な治療戦略を立案し、患者さん一人ひとりに対する最良の治療提供を目指しています。

今後の展望

TAVIは、従来の開胸手術に比べて低侵襲であり、患者さんへの負担が少ないため、今後ますます普及していくと考えています。当院では引き続き、TAVIの技術向上に努め、最新の機器や治療法を導入することで、患者さんへのより質の高い医療提供を目指しています。特に、適応が拡大する中で、患者さん一人ひとりに最適な治療法を選択し、最良の結果を得られるよう、チーム医療の強化を進めています。

今後も、TAVI治療を通じて、地域医療の一層の向上に貢献できるよう、スタッフ一同、引き続き努力してまいります。



2024年8月10日「健康ハートの日」開催



当院では、8月10日を「810(ハート)」と読み取れることから、『健康ハートの日』として、日頃の感謝の気持ちを込めて、循環器疾患に関する治療や検査の紹介、講習会、各種相談会などのイベントを毎年開催しています。今年もホテル金沢にて実施いたしました。

今回のテーマは「病気を知れば怖くない! 心臓病の基礎知識から最新医療まで」とし、カテーテル治療のシ



ミュレーション、心肺蘇生講習(AED)、頸動脈エコー検査、血管年齢測定、心エコー実演、医療なんでも相談会、おくすり相談会、栄養相談会、そして新しい心臓治療法に関する講演や患者さんの体験談など、さまざまなプログラムを実施しました。

ホテル金沢には、多くの一般の方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

